

おうぎの森のだいどころ ごはんの先生は今日もゆく！

取り組み内容のポイント

ずばり、「簡潔な内容で忘れない、実生活で役立つ！」を目標に講演しております。
いくら素晴らしい講義やレクチャーをしても、それが実際に使えなければ意味がありません！

埼玉県

社会福祉法人

永寿荘

〒331-0071 埼玉県さいたま市西区高木602

TEL：048-625-5000 FAX：048-625-7861

法人設立年

平成14年12月

法人実施事業

- ①経営施設数合計：4施設10事業
②経営施設・事業【種別毎の数】：
特別養護老人ホーム…2、短期入所…1、通所介護…1、保育所…1、一時保育事業…1、地域子育て支援事業…1、リハビリデイサービス…1、居宅介護支援事業所…2
(保育所、一時保育事業、地域子育て支援事業他5事業を平成24年度開設予定)

法人の理念・経営方針

『For The Community～地域の皆さまのために私たちができること～』社会福祉法人永寿荘は、『For The Community～地域の皆さまに私たちができること～』を法人理念に掲げ、地域でオンリーワンの施設を目指しております。地域に耳を傾け、地域でお困りの皆さまのニーズに合わせたサービスを提供し、地域全体が笑顔でハッピーになるように、永寿荘の活力をお届けしています！

取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款記載の有無：記載していない
②事業報告・計画への記載：記載している

取り組みを実施している施設の概要

施設名

社会福祉法人永寿荘 栄養室

施設種別及び利用定員

特別養護老人ホーム扇の森…120名(内ショートステイ…20名)
デイサービスセンター扇の森…40名、おうぎの森保育園…72名、
特別養護老人ホーム今羽の森…100名 等
栄養室は法人すべてにおけるご利用者様の栄養・健康管理をしております。

活動内容

- ◇活動開始年：平成21年4月
◇活動の対象者：
赤ちゃんからお年寄りまで、すべての方！
◇活動の頻度・時間：
平均して月1～2回、1回1～3時間程度実施。

活動実施の背景、実施にいたった理由

社会福祉法人永寿荘は、平成16年に特別養護老人ホームを、平成19年に保育園の運営を開始。特養ではお年寄りの栄養ケア・マネジメント、保育園では乳幼児の食育を栄養士・管理栄養士がそれぞれ担当。

転機は平成21年1月、それぞれの栄養士・管理栄養士がすべての施設の栄養業務ができるように、と「栄養室」が誕生したときだった。今までそれぞれの施設でバラバラだった栄養士・管理栄養士・調理師等総勢7名が集まり、知恵を出し合って栄養ケア・マネジメントも食育も全員で携わるようになった。三人寄れば文殊の知恵という言葉があるように、7名集まった栄養室はすべてのライフステージにおける栄養について網羅できた。これは永寿荘だけに留まらせておくのはもったいない！地域の皆さまのために私たちができることはこれだ！

平成21年4月、埼玉県食育ボランティアに「おうぎの森のだいどころ」と銘打ち、栄養室こと「ごはんの先生」の活動が始まった！

実施内容

埼玉県食育ボランティアに団体登録している。今まで小学校、特別支援学校、保健センター、子育て支援センター等で活動してきた。基本的には、ご依頼者が埼玉県食育ボランティアに登録している個人・団体に直接連絡し、希望に沿ったボランティアができるか等をすり合わせて実施。しかし、「おうぎの森のだいどころ」は来るもの拒まず！私たちの知識が必要とあれば、埼玉県全土、どこへでもゆく！

<今までの実施履歴抜粋>

- ①久喜市立清久小学校
対象者：小学4年生とその保護者
内容：講義【お箸の正しい持ち方】【バランスの良い食事】
実習【簡単にできるヘルシーおやつ】
- ②越谷西特別支援学校
対象者：保護者

内 容：講義【楽しく食べることは、楽しく生きること】【食生活についてのお悩み相談会】

実習【調理法でこんなに違う?!低カロリー術】

③さいたま市西区保健センター

対象者：保護者

内 容：講義【お箸の正しい持ち方】【子どもの食生活】

④おうぎの森保育園子育て支援センター

対象者：保護者

内 容：講義【離乳食について】【食中毒について】【子どもの好き嫌いについて】

実習【簡単おやつ:マフィン、蒸しパン、ゼリー等】【チョコレート作り】等

◆活動効果 (利用者や職員、地域などの反応、影響)

ごはんの先生の一人が、おうぎの森保育園の栄養士と知ってくれたお母様は「こんなそばに頼れる栄養士さんがいて良かった!」と言ってくれた。また、特別支援学校のお母様からは、「今日の講義は目からウロコでした。今日の夜ごはんから早速実践します!」というメッセージをくれた。ご依頼者である学校の先生からは「ボランティア(費用無料)なので、正直期待していなかったのだけど、本当に役に立つ講義や実習で、今まで開催した保護者会の中で一番内容が濃かったし、保護者から絶賛の声がたくさんなの。またお呼びしてもいいかしら?」とお電話をいただいたりした。「もう一度ききたい」との声もたくさんいた



【バランス良い食事】三色食品群知ってるかな?



調理実習を前にワクワク!

だいている。これらは、講義や実習の内容が実践的で使えるものであったからだと確信している。

◆今後の展開

この活動が地域の皆さまの心に少しでも残り、食事や健康、育児、介護についての不安や心配事がなくなるようにと願いをこめて、これからも埼玉県食育ボランティアに団体で登録をし続け、さらに広い地域の皆さまのお役に立ちたいと思っている。おうぎの森保育園での子育て支援センターでは、今年度から毎月「食育アラカルト」という地域向けの食育活動を開催した。

また、3月11日におきた東日本大震災では、予想外の放射能問題まで引き起こした。食の安心がさらに危ぶまれるこの時代だからこそ、私たちのような栄養士が正しい情報を発信していくべきなのだと感じている。埼玉県食育ボランティアとして何ができるのかを考え、適切な活動をしていく所存である。

◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
配布資料等材料費	5,000円	法人負担額	10,000円
試作品食費	2,000円		
その他雑費	3,000円		
<合計>	10,000円	<合計>	10,000円

- ・取り組みに係わった職員数 7名
(職種等：栄養士・管理栄養士・調理師)



「おいしー!」家でも作れる簡単おやつできました!



【低カロリー術】に真剣そのもの